

輸入貨物の増加を 岡山空港テーマにシンポ



岡山空港の将来像について考えたシン
ポジウム

岡山空港(岡山市日応寺)の将来像を探ろうと、「明日の岡山空港を考える」と題したシンポジウムが二十一日、岡山市内のホテルで開かれた。

県内の若手経営者らでつくる「県法人会連合会青年

部会連絡協議会」(斎藤賢会長)が、会員の研修会として開催。約二百人が参加した。

パネルディスカッションでは岡山未来デザイン委員会の岡将男委員長をコーディネーターに、遠藤秋聲県航空企画推進室室長、末長範彦県倉庫協会会長、藤木茂彦県航空協会理事、菅波茂アシア医師連絡協議会(AMDA)代表の五人が意見交換した。

遠藤室長は「滑走路の三千尺化と併せ、官民挙げて輸入貨物の増加に努めてほしい」と強調。末長会長も「中国横断自動車道など高速道路網も整備されることから、岡山空港は地方の物流基地として積極的に活用策を考えたい」と話した。